

## 茨城県立こども病院だより

令和7年9月30日 第60号



表紙写真：新生児救急車(ラッコ号)

指定管理者 社会福祉法人 水戸済生会支部茨城県済生会

## 昨年度を振り返って

病院長 新井 順一

2024年度は、院長就任3年目の年でした。この1年間に取り組んだ主な事項は、経営改善、診療報酬制度改正への対応、医師の働き方改革への対応でした。

診療内容に大きな変化はありませんでしたが、アレルギー患者の増加に関連して新たに小児アレルギーセンターを設置し、アレルギー負荷試験にも十分対応できるようにしました。救急車の受入数は2730件で前年度より若干低下しましたが、応需率は98.3%とほぼ全例受け入れています。

病院決算の黒字化を目指し、院内経営戦略会議を組織しました。人件費の上昇や物価高騰の中で、病床稼働率は前年度の77%から85%に上昇し、なんとか黒字を達成することができました。病院経営が全国的に厳しさを増している中で、当院職員が危機意識をもって対応してくれたことがよい結果に繋がったと考えています。

診療報酬改定に関連してICU管理料、NICU管理料の当直条件が新たに加わり対応に苦慮しました。ICU管理料は3から5へ変更せざるを得ず減収要因となりましたが、NICU管理料は1を維持できました。今回の改定では、小児分野で配慮された点もあり、新設された加算を取得することができました。しかし一方で、ICU管理料の施設基準が厳格化されたことによるマイナス影響は大きなものでした。

医師の働き方改革には、約1年かけて準備をすすめてきました。幸いA水準を維持できましたが、診療科によっては医師が不足し一部の医師に負担が集中しており、今後の対応も必要となっています。

2024年5月には小児脳神経外科指導医が不在となり、新規患者を受けられず多くの関係者にご迷惑をおかけしました。小児脳神経外科専門医は全国的に少なく、再開が危ぶまれましたが、幸い笹野先生にご着任いただけることとなり、4月から新規患者を受け入れることができました。

当院は今年で開設40年を迎え、老朽化、狭隘化が問題となっており、これまでも統合を視野に入れた協議が続けられてきましたが、2月に県より県立中央病院との統合計画が発表されました。小児専門病院でなくなるのは残念ではありますが、現状では総合病院との連携が必要な分野も多く、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科など、当院単独では対応が難しかった外科系小児専門分野への広がり期待できます。さらに、高度化する小児医療や広域小児救急への対応を考えれば、統合によって当院の役割がより一層高まるものと期待され、前向きに捉えていきたいと思えます。

統合は先の話ではありますが、当面は水戸済生会総合病院との連携を強化し、県内小児医療を牽引する役割を果たしていく必要があります。関係各機関の皆さまのご協力のもと、小児医療のさらなる充実を目指して尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ～第39回日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会を主催して～

小児外科部長 東間 未来

2025年6月14日に水戸市民会館3階の大会議室において、第39回日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会を開催しました。本研究会は1987年に日本小児ストーマ研究会として発足しました。当初は主に小児の消化管・尿路ストーマを対象とした研究会で、パウチなど小児のストーマ用品も限られる中、各施設におけるストーマ管理の工夫などが議論されておりました。その後、ストーマに限らず排泄全般に困難を有する子どもたちの課題が注目され、2002年に日本小児ストーマ・排泄管理研究会と名称を変更しました。最近では小児における褥瘡や陰圧閉鎖療法など創傷管理への対応も求められるようになり、2015年に日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会と改名して現在に至ります。

本研究会のユニークさは会員の構成にあり、小児外科医・小児泌尿器科医のほか看護師が多くを占めており、とくにWOCナースが研究会の広報活動・教育活動において大きな役割を担っています。例年、研究会の前3日間は研究会内の教育委員が中心となって『日本小児ストーマ・排泄・創傷管理セミナー』を開催し、小児の排泄・創傷管理の基礎知識と技術の普及に努めており、看護師や医師が受講しています。

そして、セミナー後に開催されるのが今回私が会長を務めた研究会であり、ここでは全国の医療施設から排泄や創傷管理に関する演題が寄せられます。今回、第39回の本研究会では、主題として①失禁の治療とケア、②排泄障害を有する児の社会参加に関わる諸問題、③難治性創傷の治療とケア（局所陰圧閉鎖療法の現在地）を掲げ、演題を募集しました。42演題の応募があり、そのうちの約3分の1が看護師や理学療法士からの発表でした。約160名の皆様にご参加いただき、大変活発な討議が行われました。

教育講演として、自治医科大学小児泌尿器科客員教授の中井秀郎先生に尿失禁に対する下部尿路再建手術のご経験をご講演いただき、また、小児精神科医の菊地祐子先生には、排泄障害など慢性的な病態を有する小児患者の診療において医療者が心得るべき態度についてご講演いただきました。いずれの講演も聴衆からの反響が大きく、参加者のニーズに合った企画であったと自負しております。

今回の特別な試みとして、SAZAコーヒーと茨城県産メロンを提供するという軽食コーナーを設けました。これが非常に好評であり、50個準備したメロンが完食でした。

本研究会の開催にあたっては、技術面で当院の医療情報管理室のメンバーに大変お世話になりました。また、普段の診療現場でも大変お世話になっている医療秘書室、看護局、超音波診断・研修センター、栄養科の皆様には会場準備から当日の進行やエンターテイメントまでお手伝いしていただき、盛会のうちに研究会を終えることができました。小児脳神経外科の笹野先生、小児外科・小児泌尿器科の先生方も土曜日返上でお手伝いくださり、ありがとうございます。皆様には本当に感謝しております。当院職員の結束力の強さと茨城の食の美味さをアピールすることができ、充実した研究会となりました。



# インフルエンザ脳症について

小児総合診療部副部長兼集中治療室長 本山 景一

インフルエンザは、多くの方が一度はかかったことのある身近な感染症です。

高熱や強い倦怠感など大人でもつらい症状がみられますが、多くの場合、数日で自然に回復します。しかし、この身近な感染症がときに生命に関わる重篤な合併症を引き起こすことがあります。その一つが「急性脳症」で大人に比べて子どもに多いことが知られています。

「インフルエンザ脳症」は、インフルエンザウイルスが体内に侵入した際に免疫システムが過剰に反応し、脳が障害されることで発症します。「急性脳症」自体はインフルエンザ以外の感染症でも起こり得るもので、誰にでも発症する可能性があります。きっかけは誰でも罹り得るウイルス感染であり、最初の症状も風邪と大きく変わりません。しかし、脳症を発症すると意識障害や痙攣発作がみられるようになります。「急性脳症」は軽症から重症まであり、その症状や病態が幅広いことが特徴ですが、重症型ではその進行は非常に速く、わずか数時間で脳浮腫が進行したり、多臓器不全に至ることで生命にかかわる状態に陥ったりすることがあります。たとえ適切な初期対応からER/PICUにつながっても、不幸な転帰や重い後遺症を避けることが難しい場合が多く、小児救急集中治療における最も悩ましい病態の一つです。

インフルエンザ脳症は

- 1) きっかけを防ぐことは難しく、誰でもかかる可能性がある
- 2) 重症化するまでは風邪と変わらない
- 3) 重症化した場合、厳しい予後を変えることは難しい

という特徴を持つ、お子さんとご家族にとってあまりに理不尽な疾患です。

ご家族からの「どうしてうちの子が?」「親として何かできることはなかつ

たのか?」「何とか助けてください」という問いかけや想いに向き合うたびにいつも苦しい思いにかられます。



「少しでもできることを」という視点では以下を参考にしてください。

## 1) インフルエンザ感染の予防

- ① 予防接種：ワクチンはインフルエンザへの感染を完全に防ぐものではありませんが、少しでも発症を抑えたり重症化を防ぐ効果が期待されます。
- ② 手洗いなどの感染症対策：COVID-19流行の際に身に着けた感染症対策を応用して頂ければと思います。

## 2) 急性脳症を疑う徴候と受診の目安

以下のような症状が現れたときには注意が必要です。

- ・ぐったりして水分が摂れない
- ・意識がおかしい、呼びかけに反応しない
- ・けいれんを起こす
- ・異常な言動や行動がみられたり幻覚を見たりする

これらの症状は、「熱性けいれん」や「熱せん妄」でもみられますが「急性脳症」と診断するポイントは「一時的ではない」「繰り返す」「意識障害が改善しない」という点になります。瞬間では判断がつきませんので上記のような症状がみられる場合は受診して頂き経過を一緒に診せて頂くことが最も重要です。

県央県北地域では子どもの救急搬送の8割は当院救急外来に集約されています。地域唯一のPICUを持つ病院として、私たちはいつでも子どもに必要な治療が行えるように準備をしていますので、ご家族や地域の先生方から見て「何かおかしい」と感じたら遠慮なくご連絡ください。





昨年度もたくさんのご寄付を賜り  
厚く御礼申し上げます。

当院では、企業・団体や個人の皆様に善意のご寄付をお願いし、こどもたち用の図書・玩具の購入や病院内学級の整備など病児の療養環境の向上を図ると共に、健康保険外の先端医療の推進を行う活動を積極的に展開しております。

### 2024年度寄付金一覧

寄付者名	金額
やまわきこどもクリニック 院長 山脇英範 様	1,000,000 円
ライオンズクラブ国際協会333-E地区 様 つくば西ライオンズクラブ 様 龍ヶ崎ライオンズクラブ 様 ライオンズクラブ国際協会333-E地区2R1Z 様	654,029円
土浦SORAライオンズクラブ 様	170,000円
大泉砕石株式会社 様	1,000,000円
岩井ライオンズクラブ 様	66,231円
富永忠男 様	450,000円
富永喜子 様	450,000円
富永郷司 様	100,000円
神栖ライオンズクラブ 様	68,700円
茨城県国際女性教育振興会 様	50,000円
株式会社タイガ 様	1,000,000円
日立中央ライオンズクラブ 様	50,000円
株式会社ナムロック 様	200,000円
横浜幸銀信用組合 様	300,000円
茨城三和ライオンズクラブ 様	60,000円
古河ライオンズクラブ 様	190,371円
外 団体 3件、 個人 9名	302,658円
計	6,111,989円



## 2024年度 寄付物品一覧

寄付者名	寄贈品
ヒスターズナウつくば 様	ガーゼ帽子 23枚、 緊急入院用支援バック 50セット 付添家族へのプレゼント 179セット どうぶつパンチボール 25個、 マスコット人形 24個 プラレール・プリンスハウス 7個 バルーン（装飾） 4回、 バルーン（装飾・プレゼント） 307個
ヒスターズナウつくば 様 NPO法人プロジェクトサンタ 様	カプセルトイ 1台、 カプセル・カプセルトイ景品 1式
神宮 エミ 様	バルーン人形 1体
水戸チアフルライオンズクラブ 様	インナーキャップウィッグ 10台
骨髄バンクを支援するいばらきの会 様	ぬいぐるみ 103個
医療法人社団どんぐり会 こどもホスピス ねむの木の 下で・・・ 様	絵本 76冊

外 団体 5件、個人 10名 （座位保持チェア、バギー、バギー型車椅子、テーブル、絵本など）



当院では皆様に広く善意のご寄付をお願いしております。  
皆様の格別のご理解とご支援をお願いいたします。

窓口

経営企画課  
寄付担当

(TEL) 029-254-1151 内線 9213  
(E-mail) ich-kifu@ibaraki-kodomo.com



# 小児がん患者を支援する寄付活動 「レモネードスタンド活動」

## レモネードスタンド活動とは

「レモネードスタンド活動」とは、小児がんおよびAYA世代（思春期・若年成人）のがん患者を支援するための寄付活動です。

もともとは、アメリカの子どもたちがレモネードを販売する小さなビジネスとして行われていましたが、4歳の女の子が自身のがん闘病経験をきっかけに、小児がん患者を支援する目的で活動をはじめたことが発端となり、小児がん患者を支援するための社会貢献活動として広く認知されるようになりました。

その活動は新聞などで紹介され、多くの人々の共感を呼び、全米から世界中に広がりました。

## 日本における活動

日本国内でも、企業イベント・学校の文化祭・地域のお祭りなどを通じてレモネードスタンド活動が開催されており、集められた寄付金はがんと闘う子どもたちの治療法の開発や治療環境の整備のため、研究機関や医療機関に寄付されています。

当院においても、ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区をはじめとするライオンズクラブ様、ヒスターズナウ様などの社会貢献支援団体より、小児がん病棟へのご支援をいただいております。



活動時に集めていただいた  
メッセージを飾ったパネル  
(日立中央ライオンズクラブ様より)

## 当院での活用状況

これまでいただいたご支援は、以下のような用途に活用させていただいております。

- ・病室、病棟などで快適・安全に過ごすための環境整備
- ・診察の待ち時間や入院中の余暇時間を楽しく過ごすため、また、診療の恐怖や不安を取り除くためのおもちゃやDVD
- ・遠方から入院される患者さんやご家族のための宿泊施設（ファミリーハウス）への備品設置
- ・長期間、院内にいても季節を感じられる装飾品や、イベントにて使用する物品
- ・海外研究機関へゲノム解析を依頼する際に必要な検体配送費用

## 今後の活用予定

- ・妊孕性温存に係る費用の一部支援

がんに伴う生殖機能への影響に配慮し、卵子や精子、胚（受精卵）を凍結保存する「妊孕性温存」を希望される患者さんに対し、費用の一部を支援します。

# 第37回日本小切開・鏡視外科学会の開催報告

小児外科、小児泌尿器科 矢内 俊裕

この度、「一張一弛」をテーマに、第37回日本小切開・鏡視外科学会を2025年6月27日(金)～28日(土)に水戸市民会館で開催いたしました(①)。現地参加のみの形式としましたが、全国から多診療科の先生方に御参加いただきました。

本学会は、開腹手術で確立された安全な手技を体表の吊り上げや小切開を用いて内視鏡外科手術と融合させた小切開・鏡視外科手術を確立させ普及することを目的として設立されました。気腹下での内視鏡手術手技の向上や手術機器の進歩により、現在では気腹式内視鏡手術が主流となり、さらにロボット支援手術が普及してきましたが、当学会の概念は外科領域のみならず産婦人科・泌尿器科・整形外科などにも広がり、一つの柱として確立されております。今回のテーマである「一張一弛」は、弓の弦を強く張ったり緩めたりすることから転じて、人に(自分に)ほどよく厳しくしたり優しくしたりすること、心を引き締めたりリラックスさせたりすることを示しており、為政者や教育者の心得として用いられています。これは水戸藩の第9代藩主である徳川斉昭公が重んじた儒学の思想であり、厳格に学問に励む場所が弘道館(藩校)、武士も領民も皆で楽しむ場所が偕楽園でした。我々が行う手術に関してもメリハリやけじめが重要であり、医療者にも患者にも有益な手技が今後も継続されると信じております。

口演1会場で各領域別セッション(消化器外科1・2、呼吸器外科、内分秘外科、小児外科、産婦人科1・2、泌尿器科、整形外科)および一般演題が進行し、活発な意見交換が行われました(②)。各領域別セッションでは各領域のスペシャリストの先生方に御発表いただき、他領域の医師にも非常に参加になる内容でした。



## ① 学術集会ポスター

招請講演「ミニマム創内視鏡下手術の沿革と展望」(吉田宗一郎先生)、特別講演1「あきらめない心」(義手の看護師:伊藤真波様③)、特別講演2「リズムがつなぐ脳と心:“同期脳”から読み解く対人協調のしくみ」(川崎真弘先生)、教育講演1「きれいなキズの治し方」(堂後京子先生)、教育講演2「胎児内視鏡手術:その課題に対する技術開発」(千葉敏雄先生)の各御講演は、聴衆の関心が高く、たいへん勉強になりました。ほかに会長講演、医療安全講習会、ハラスメント防止講習会を行いました。

情報交換会(会員懇親会)では、特に女性演歌歌手のものまねを得意とするりょう様(男性)に昭和歌謡を18曲ほど熱唱していただき、笑いと感動の渦に皆様が巻き込まれました(④)。容姿も歌も小林幸子さんにそっくりであり、「もしかして part2」を私とデュエットしてもらいました。

2日間の学術集会では活発かつ有意義な意見交換が行われ、盛会のうちに終了することができました。最後に、本学術集会の開催にあたり多大な御支援・御協力をいただきました皆様に、心より感謝申し上げます。



② 講演会場



③ 特別講演1



④ 情報交換会

# 茨城県立こども病院 外来担当医一覧

令和7年10月1日

科		曜日	月	火	水	木	金
内科系	一般	午前	齊藤 (博)	齊藤 (博)	鈴木涼	齊藤 (綾)	福島
		午後				予防接種(第1、3週)	
	血液	午前					
		午後		吉見	加藤 小林 (第1、3、5週)	加藤 鈴木	加藤 池邊
	心臓	午前	塩野 林	林 (胎児心臓)	塩野	塩野 林	
		午後	塩野(14:00~16:00)	野崎 (第4週)	林	藤里	
	アレルギー	午前			鬼澤 (初診)	貴達	黒田(再診のみ) 貴達
		午後			黒田 (再診のみ)		黒田 (再診のみ)
	神経	午前	田中	田中、谷知 岩淵	川嶋 (第4週 再診のみ) 福島 (第2週) 岩淵 (第1、3、5週)	田中 西村	谷知
		午後		田中、福島 谷知	福島 (第2、4週) 川嶋 (第4週 再診のみ) 榎園 (第1、3、5週)、 岩淵 (第3、5週)	田中 福島 西村	岩淵
	腎臓	午前	三浦 (第4週)		泉		
		午後	泉			齊藤 (綾)	泉
	内分泌病	午前			泉 出澤		小笠原 (出澤)
		午後	泉 ※内分泌のみ 岩淵 (第3週)		岩淵 (第1週) 出澤		小笠原 (出澤) 泉
	消化器臓	午前					
		午後		齊藤 (博)			
	膠原病	午前		酒井 (第2、4週)			
		午後					
	フォローアップ	午前	総合	総合	総合、塚田 (第2、4週) 泉	総合	総合
		午後	総合	総合	総合、塚田 (第2、4週)	総合、石井 (第1、3週)	総合
新生児	午前		梶川	新生児甲状腺外来 星野 (第5週を除く)		淵野	
	午後	日向	油原	新井	雪竹	佐藤、雪竹 一ヶ月健診	
感染症外来	午前	肥田	大高	石山	古谷野	山本	
	午後	肥田	山本	上口	古谷野	勝浦	
小児外科	午前	東間	東間		矢内	益子	
	午後		東間(第1、3、5週) 東間(排泄)(第2、4週) 導尿外来(第2、4週)		矢内	益子	
泌尿器科	午前				矢内	益子	
	午後				矢内	益子	
心臓血管外科	午前	阿部		阿部 坂 (第3週)		阿部 坂	
	午後						
脳神経外科	午前		笹野		笹野		
	午後	室井 (第2、4週)	笹野				
整形外科	午前			塚越			
	午後	相場 (第1、3、5週)	鎌田 (第2週)、野澤			塚越 (初診)	
形成外科	午前						
	午後					明星 (第2、4週)	

臨床心理外来は、月曜日～金曜日までの午前・午後に実施  
 ※診療時間 午前9～12時(受付時間 8:30～11:30) 午後1～4時(受付時間 1:00～3:30)

企画  
編集

茨城県立こども病院広報委員会

〒311-4145 水戸市双葉台 3-3-1  
 TEL 029-254-1151 FAX 029-254-2382  
 URL <http://www.ibaraki-kodomo.com/>

発行  
責任者

茨城県立こども病院

病院長 新井 順一